

県産業成長戦略 香川県が骨子案

来年6月ごろ策定

香川県は、平成25年度から10年間の産業振興指針となる「県産業成長戦略」の骨子案をまとめた。成長産業の育成や観光など重点的に取り組む分野を盛り込んでいる。

骨子案は、戦略内容を検討する有識者らの懇談会（会長＝竹崎克彦・香川県商工会議所連合会会長）の会合で示した。

基本戦略に挙げたのは、希少糖の「知の拠点」の形成▽「香川のオリーブ」のブランド力の強化▽全国初の全真的な医療情報ネットワーク「かがわ遠隔医療ネットワーク（K-MIX）」事業の新たな展開▽再生可能エネルギーなど関

連産業の育成▽炭素繊維複合材料関連産業の育成▽観光関連でアート・文化資源の活用―など。

県は、委員からの指摘や意見を踏まえ、来年6月ごろに戦略を策定する。